

北

哲朗

清水

Ц

# 魔友公园連合会之報

第 66 号元年4月

猪谷 嘉夫	隨 お・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の - こ	余 栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あの人この人私 は 今	経営組織の見直し 電話局の名称変更	報
磯岡 芳明			2			次
岡田恂三	t t ,		大 五	五三	= =	

活圏等市場のまとまりにあわせた広域ブロッ

に、電話局についても昨年秋以降、商圏、生

更することとしました。

電報電話局等については「営業所」に名称変 局等を「支店」に、ブロック内のそれ以外の 年四月一日から広域ブロックの中心的な電話

NTT情報

電話局の名称を変更

四月一日から

電話局は「支店」「営業所」に!

ととしました。 及び電報電話局等の名称を、四月一日から ニューNTTとしてイメージの刷新を図るこ 「支店」又は「営業所」に変更し、名実ともに 具体的には本年四月から「本社―総支社― NTT四国総支社では、管内にある電話局

ニューΖTTへイメージ一新

支社―電話局」の四段階の組織構造を「本社

支社―電話局」の三段階組織とするととも

あわせ、支社からの権限をシフトし、電話局 クへの統合再編を行っています。 よう改革を進めることとしました。 かいサービスを積極的・弾力的に提供できる 長の判断で地域のお客さまにあったきめの細 NTT四国総支社では、これにあわせて本 また、本年四月以降は、広域ブロック化に

の支店、四六の営業所にかわります。

これにより、四国の電話局等が十五

※電話局別の新名称は別紙のとおり

紙) (別

等 業 所 新 名 称

	区分	分新		折 名	名 称	
事業所名	等		支	店	営業所	
高松電話局	本	局		)	44.	
向似电砧问	Ξ :	条			0	
讃岐三木電	局	- 2 =		0		
三本松電報電話局 土庄電報電話局 内海電報電話局					0	
					0	
					0	
	本	局			. The contract of the contract	
	観音	寺		)	17	
丸 亀	坂	出			0	
電報電話局	琴	平				
	善通	寺			0	
2 ,4	高	瀬			0	

	区	分	新名		3 称	
事業所名	等		支	店	営業所	
	本	局		)		
	鳴	門			0	
徳 島 電報電話局	鴨	島			0	
lan	板	野			0	
	石	井			0	
阿南電報	(	)				
小松島電韓			0			
丹生谷電幸			0			
牟岐電報			0			
日和佐電幸			0			
阿波勝浦電			0			
阿波池田電		)				
脇町電報			0			

	X	分	¥	折 彳	名 称
事業所名等			支	店	営業所
高 知	本	局		)	
電報電話局	東				0
伊野電報	7		0		
南国電報			0		
土佐電報	電話				
須崎電報	電話				
佐川電報	電話			0	
土佐山田電			0		
赤岡電報			0		
嶺北杉電幸			0		
田井電報電話局					Ο.
	本	局		)	
土佐中村	窪	Ш			0
電報電話局	土佐清	小			0
	宿	毛			0
安芸電報電話局				)	
田野電報電話局					0
室戸電報			0		

#### 経 営組 織 の 見 直しについ 7

新名称

営業所

0

0

0

0

0

0

0

0

0

0

支店

局 0

条

子

万

0

0

0

三津浜

Ш 越

伊

八幡浜電報電話局

大洲電報電話局

宇和電報電話局

宇和島電報電話局

御荘電報電話局

今治電報電話局

伯方電報電話局 壬生川電報電話局

新居浜電報電話局

西条電報電話局

伊予三島電報電話局

川之江電報電話局

の組織についても本年四月一日に見直しを行 質の強化を図ることとしました。 しを実施中ですが、総支社、支社等管理段階 ク単位で広域的な事業運営ができるよう見直 い、一層のお客さまサービスの向上と経営体 数の電話局を一つのブロックとして、ブロッ さま本位の運営体制とするため、昨秋から複 NTT四国総支社では、より効率的でお客

> X 分

事業所名等

電話局

(1) これまでの・ 、見直しにあたっての基本的な考え方は次 これまでの全国画一型の組織を改め、

限と人材をシフトすることにより、お客お客さまと直接接する電話局に大幅に権

(2)効率的な体制とします。 弾力的な運営体制とするとともに、より環境の変化に迅速に対応できる機動的、 さまのご要望に即応したサービスを責任 重階層の管理段階組織を見直し、経営持って提供できる事業運営とします。

まのご要望に即応できるよう電話局のワ ビス別事業部との連携を強化し、お客さ トベル等のサービスを提供しているサー ンスト 業本部と専用線、キャプテン・ポケッ 電信電話サービスを担当している地域 プショッピング機能を強化しま

~ す。 具体的な見直しの内容は以下のとおりで

(1) 新たに四国支社を設置します。 くし、機動的・効率的な体制とするた同一地域での管理段階の重階層をな 総支社・支社の見直し 新支社は、四国全体の経営戦略、 四国総支社と愛媛支社を統合し、 広

なお、

専用回線事業部四国支店は廃止し、総合通信システム本部の設置に

び愛媛県内の電話局支援、戦略業務をト機能等を中心とする戦略的な業務及域的調整、他事業部との調整、サポー 合わせて実施します。

います。 は、内部組織体制の大幅な見直しを行・香川、徳島、高知の三支社について

(2)事業としての健全化と活性化を図ること内に通信機器事業部を設置し、自立した とします。 条件を確保するため、四国地域事業本部第一種事業と明確に峻別し、公正競争 通信機器事業の見直し

(3)ます。 部を設置し、システム営業体制の強化と門を統合して新たに総合通信システム本め、専用回線部門と企業通信システム部通信システムを提供できる体制とするた 合わせ、専用回線を含めた総合的な企業のオフィス・オートメーションの進展に 専用回線サー 通信回線利用の多様化・高度化、企業 サービス別事業部の見直し ビスの向上を図ることとし

している今日この頃であるが、その甲斐あっボールの面白さ、奥深さに心を引かれ、熱中

三、以上の見直しに伴い、 をシフトしていくとともに、システム営業、お客さまと直接接する電話局に大幅に人材 的に配置し、 とします。 ソフトウェア開発、新規事業開発等に重点 ます。 経営体質の強化に努めること 総支社、支社から

### 今

私

は

ランドに姿を見せない日がないくらいゲート入会以来、鴉の鳴かない日があっても、グ 間に三年余が経過した。ボールサークルに入会してから、 ポン友M君の 勧めて、 NTT · OBゲー あっという

いる。明日もまた張り刃って東アニアであり、残された人生を支える大きな柱となってり、残された人生を支える大きな柱となってもいたとって、ゲートボールは生き甲斐である。 う。 〝私の理想〟 …天国に召されても、天国 全国優勝の栄に輝いた。て全国大会に二回出場、うち一回は僥倖にも の振興・普及に努力したい。

#### 0 則 近 (伊予)

早速入院しました。 昨年の春 胴木! ができるようになり、四十日余りで一応退院くれました。おかげで、どうにか自分のこと 痴がでて、妻は泣きたくなる思いで看病して病が病だけに、傷心のあまり我がままや愚 しました。 脳梗塞のため半身不隨となり、

るものの、家族の支えもあり、 療を受け、体の不自由に耐え、 この病は早期の回復は難かしく、今なお医 復に努めております。 先々不安はあ 希望をもって

### 松岡 重蔵

### その後の職……

か月病院通い。 左官手伝い=初日早々ギックリ腰でダウン、 かまぼこ工場―くずしと付き合うこと三年、

かまぼこ人口の多いのに感心。 分でなく、一年余りで退く。 八幡浜法人会、青申会等の事務局=体調が

忙。三年半で退職。途中しばらく八幡浜商工青色申告記帳指導員=確定申告時は特に多日商簿記検定二級合格 会議所事務局長を勤める。

### 木俵 (新居浜)

を生かしながら、ボケ防止の一助にもと、小 徒数四十五名、苦労もありますが、また楽し 学生を対象に書道を教えております。現在生 んに何かお役にたちたいと思い、自分の趣味 退職後は、おせわになった自治会のみなさたものだなあと思う今日この頃です。 もあります。 七十の坂を越えて、 "今年は年男" 年をと

社会奉仕の精神で、

健康に気をつけながら、

**生命のある限り、** 今後とも続けたいと思って

分の努力以外にはないことを知らされました。も、幸せを自分のものにするのも、所せん自最近になって、健康を自分のものにするの 大勢の人の中には、いろいろな考え方、いろ地域の世話に明け暮れている毎日ですが、 ものにするため、一日一日を大切に積み重ね人生は今からです、悔のない人生を自分の 他人とともに生きたいと願っております。 だから、集りの場では他人の言うことを聞き、 いろな生き方のあることを教えられています。 ている今日この頃です。

### 湊 弥五郎

委員として町の福祉行政に協力することにな立体育館の指導員を三年、その後は民生児童五二年退職以来、町役場の嘱託員として町 を新たにしています。 極的に参加して、福祉に対する理解と意義のり、地域福祉のためボランティア活動には積 高揚を図ると共に、福祉問題に取り組む決意 フ愛好者で結成している「八一会」には毎回幸にして健康には恵まれ、電電〇Bのゴル

#### 0 川原 政男 (高瀬)

げず、

(毎月一回)参加して、寒さにも暑さにもめ

楽しいひと時を過ごしています。

せてくれる。

ジュの豪華な踊り等々、おかげで若返った。旅をした。アルプスの輝く雪、ムーランルー ーストラリアが目標だ。 れいな自然に心身ともに洗われた。 年末にはニュージーランド十日間の旅、き 昨 石垣島での泳ぎがきっ 年三月、退職記念にヨーロッパ四か国の かけて、 九月、 今年はオ ジャ

アの パンクラブのペア会員に入会。スイミングを グも続走十五年目。次の目標はゴルフ・シニ 週四〜五回、気分爽快である。早朝ジョギ 初優勝です。

中国と行きましたが、これからも健康なかぎ、必ずどこかえ行きます。海外もハワイ、台湾、 り未知の世界に挑戦したいと思います。 三味線等々も… 札所等を歩いています。 そのため健歩会に入り、県下の名所、旧 職して十年、旅行好きの私は年二~三回 加えて趣味の詩吟、

け頑張りたいと思っています。と語りつつ、ストレス解消のため、 モットーに、今年はリュックを背に、昔の友は皆勤できなかったが、〝健康は足から〟を は皆勤できなかったが、月一回の歩こう会も、 家の都合で去年まで 皆勤に向

#### 森本 政一 (徳島)

教室はいつも満員である。 しかし、和やかな雰囲気のせいか、カブーム全盛からほぼ十年、フィバー よい、歌唱後たしかに気分だけはすっきりさ なでいい汗をかく。体や心の健康には音楽が などいろいろ、一幕たった三分間だが、みんオペラ歌手のようないい声、お経に近い人 カラオケ も下火、

いが、ジンと胸打つ人生讃歌もある。 会に向けて「年輪」を選曲、目下練習中です。 音符めくら、生まれつきオンチの私も発表 流行歌!!それは昔も今も心の憂さものが多

#### 新開 勇 (阿南)

盆栽、生花、菊作り、短歌といった各分科に総合大学という名稱で十年前より書道、墨絵、当羽ノ浦町では、社会教育の一環として、

黒部満喜子

0

ますが、年々生徒数も増えて現在二十名にな それぞれ講師を置き、希望者に教えています。 細工の講師として毎月二回希望者に教えてい 私も何か町民のために役立てばと思い、竹 皆面白いと言って学習を楽しんでくれて

励んでいる今日この頃です。 これも私の趣味と生きがいと思い、 指導に

#### 三宮 敏助 (高知)

凡々、昔を思い出しながら、二か月に一回の 元気で暮らしています。 相変わらず好きなお酒を友として、まあまあ 楽しみは特別これというものもなく、平々 退職後八年、 お陰様で年金に感謝しながら、

懐かしい思い出に浸りたいと考え、皆様同様、 席させて頂いています。 になった土地を旅して、一夜痛飲しながら、 これからもできる限り、公社生活でおせわ

OB会、退職者の会総会、忘年会、最近でき

た囲碁クラブ等、局関係の会合には殆んど出

### 山本 (土佐中村)

健康には十分気をつけている昨今です。

えたが、高齢の母の強い要望で、昭和六十年 四月、郷里の土を踏んだ。 退 職後、 職直後は松山に定住するつもりで家も構 早六年の歳月が流れた。

ばかりに地区長や民生委員などの役職を背負 ひとつひくこともなく結構忙しい日々を送っ わされて今日に至っているが、お陰様で風邪 生活を送ったが、二年目の春、待っていたと 帰郷後約一年間は、何なすともなく平凡な

皆さんのご健勝を祈ります。

#### あの人 この人

# 俳句と付き合って四十余年

わるような、頭の下がる思いがする。

ならない。とも。まるで般若心経の心を教

るのが俳句、少な じさせるのも魅力 く言って大きく感 分と世界を表現す 僅か十七文字で自

刊の全責任者となる。

ず、物の真実が見えるようになり、仕事の面

「俳句のおかげで、上辺の眩惑に惑わされ

を担当、選者となり、さらに編集長として発

苗」主宰)の門をたたいた時に始まる。 は、翌二一年、宮下歌梯さん(故人、俳誌「松 ガリ版刷りの文芸活動を始めたが、本格的に さんをリーダーに俳句・短歌など、手書き、 同僚の角野陳明さんらと相談、先輩の太田集 は否めず、「何とか人心を立て直したい」と 場にはなげやりな気風が満ち、将来への不安 二十年、時恰も戦後の荒廃と虚無の時代、職 念を持つ長島さん、俳号を「正雅」と言われる。 の向上に結びつかなければならない。との信 元来文学が好きで、俳句との出合いは昭和 だが、俳句は人間

開かせてくれた人で、「歌梯先生がいなけれ 厳たるものを持ち、感動の人間としての目を ころもなく、軍隊帰りの心すさんだ長島さん ば今の私は無い。と言われる。 には、まるで兄貴のようで、しかも言行一致、 自然感俳句を唱える歌梯師は、偉ぶったと

えなかったものが見えてくる、本当の感動が「心を空にし、自然に対する、すると、見 ある、それを詠みあげる。と。 抑えて見るという、 に対しても他人の長所は大きく認め、短所は 無限の大自然に入っていくことが肝要、人間 そのためには、「心を整え、奇をてらわず、 謙虚な姿勢を持たなけれ

長島正行さん(徳島 七、五、 は新設された「波頭欄」の初代選者となる。 二三年から同人、編集に携わり、三一年から 歌梯さんに師事してからは「松苗」一 転勤で暫く中断されたが、退職後再び編集

ほか、俳人協会々員、徳島俳人協会幹事長等 篤志面接委員として、受刑者に俳句を指導、 座を担当したり、五四年からは徳島刑務所の ご活躍のほど切にお祈り申します。(高市記) その功により、高松矯正管区長表彰も受けた。 でも助けられた。とか。 こうした人柄が評価され、NHKの俳 長島さんは現在、数グループの俳句指導の 古稀を迎えてなお嬰쬻。どうかお元気で 青田風視野の外より生れ来る 水打って己が思ひに返りけり

ハテな? いわゆる雅語がありました。 和歌などによく使われる上品な言葉、 するものを-さて、左側の月と右側の雅語の一致 昔は、一月から十二月までの呼称に、 で結んでみてください。

秋遍路一人離れて行きにけり

\*如や弥は睦は皇々水の卯な長は文は葉は霜 の卯が長は文は葉は霜し師が神な無

10月 11月 12月

5

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 西村福治様

六九

八〇

伊高 高 Ξ

福本守道様

岩田政繁様

元・3・3 元 2 23 元 2 14 元•2•6

八三

八

幡

賀本寿栄様

3 . 8

宮田典明様

六一 六六

山浜野知知松山松島

山崎敬三様 \_大薮庄市様 川東国好様

64 1 4

本

鯉

表紙のことば

春たけなわ。

く鯉幟は、男の子の象徴である。

五月の空を腹一杯に風をふくらんではため

荘野

丹秀(内海)

青空にはためきながら泳いでいる風景は

第66号

六七

松高

63 12 25

七三

氏

名

死亡年月日

享年

所

悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。次の方々が逝去されました。謹んで哀

弔

(死亡順

正七位勲六等瑞宝章 従六位勲五等瑞宝章 長崎輝喜様

高知

正七位勲六等瑞宝章 中山利亀様

高知

山崎敬三様 (三本松

ルウェルだより

#### 国 身障者スポーツ用具等 |支部から愛媛県社会福祉事業団 総額一五〇万円を寄贈

年を記念して一億五千万円の基金を創設し、 その運用益で、同年から毎年NTT職域並び 会福祉助成事業」を行っていますが、その一 に広く一般社会の福祉の向上に寄与する「社 テルウェルでは、 昭和六〇年に創立三〇周 環として、この

団を訪れ、パー 祉事業団(理事 ら愛媛県社会福 ほど四国支部か マシン及びネッ 習できる卓球用 トナーなしで練 所長らが同事業 天福祉センター 藤谷支部長、行 さる三月二日に、 うこととなり、 に対し助成を行 長•愛媛県知事)

このたび青井済会では会話社が大人かり、一場では大海会では、一場では一場でして中球鉄田城が大人かり、用車村・人が大きたの温がいる。他に対いから、京都の意と表します。 数国法人電券通信於清公 感謝状 買美於 藤谷敏即級



(贈呈模様)

ト一式、バスケ

寄贈しました。 器インピーダン 台、聴覚障害者 額一五〇万円を ス・オージオメ のリハビリ診断 ット用車椅子一 ター一台の総

> 新聞にも紹介報道されました。 ビのニュース番組で放映され、又翌朝の愛媛 ビリに役立てたいとしています。 し、身障者のスポーツ振興や、効果的なリハ なお、 同事業団では、身障者福祉センター この贈呈模様は、同日南海放送テレ へ配

### ボランティアNTTOB会が松山地区の 催

えに有益であるので、今後再三開いてはどう 結成に積極的な支援を行うこととしています。 ターでもこれらの動きに呼応して、グループ ティアグループ結成の動きがあり、 か。など活発な意見が出されました。 情報交換や、ボランティアの認識を深めるう げてはどうか。●このような経験交流会は、 動の模様は、会員個々に周知し、その層を広 きである。●福祉施設等へのボランティア活 各地域ごとに、もっと積極的に会合をもつべ ア経験交流会」を開催しました。 代表者二〇名を集め、初めての「ボランティ き荘」で、役員を含む各地域(ブロック)の が、さる二月一六日、退職者談話室「ともが NTTOB会(会員七九名・磯岡芳明会長) なお、高知・徳島・高松地区でも、ボラン 席上、●地域に根ざした活動を進めるため、 現在、松山地区で活躍中の、ボランティア 福祉セン

### 四国支部へ愛媛営業所を統合、明日への躍進を目指し 組織を再

を行いました。 愛媛営業所を統合し、 性化を図るため、三月一日付で、四国支部に 四国支部では、 経営の効率化と、 次のように組織の再編 事業の活

74 o支部監事室 0

今後一 層のご支援を願います。 の下は、部長・所長・室

0 0 四国電話帳関連事業部 企画部 (新設) 藤谷 敏郎支部長が兼務 (従来組織

健

○厚生サービス部 (再編 佐伯

〇第二営業部 〇第一営業部 (再編・NTTサービス) (再編・商品販売 進副支部長が兼

運

務

中 藤 悦 雄

(従来組織 木 内 康 雄

(従来組織 半 明 孝 治

行

天

清

総務経理部

福祉センター

第三営業部

(再編・技術

(従来組織 支部監事 近 藤



#### お かめの心

に止まる。「おかめの心」である。曰く何気なく眺めた外箱の小さな活字が、ふと目 ○目が細いのは 一男が送ってくれた甘納豆を食べながら、

人の悪いところは見ない心

0 が小さいのは

○髪の毛をきれいに櫛けづり、 人の悪口も自分の愚痴も言わない心 まん中で分

> ○目の上の黒いところは角を取った跡で けているのは 礼儀正しく、 中道円満を表わす心

受量の低いのは、 嫉妬心を起こさず、 できる心 あらゆることに感謝

人の幸福を喜ぶ心

ちょっと紹介まで。(高市記・一部修正 なる願望を表現しているとか、面白いので、 て身を処せば、子孫繁栄し、世の中が平和に おかめは五つの心を表わし、この心を持っ

筆

大正十五年十二月二十五日 猪谷 大正天皇陛下 嘉史 (高松)

冬体みの始まる前日の二十四日、教務課から 局に出勤した。 朝の新聞には崩御が報ぜられ、早速中央電信 電信出身者に応援の要請があった。そして翌 電信局は人手不足になる。』というので、我々 が崩御あらせられた日である。 『若し崩御なさると電報が殺到して東京中央 当時私は逓信官吏練習所の学生であった。

鑚孔テープをかけ、受信はモールス符号を現速通信はホイストン式自動電信機で、送信は しかも現字紙貼付のものが多く、慣れるまで 送信電報はいずれも長文の新聞電報が多く、 字紙に印字し、これを台紙に貼付した。 信の音響通信なので苦労はない。その頃の高 回線を収容する課に配置された。専用線は単 の電報があって些か不可解にも思えたが、 これらの電報に混って、祝意を表わす短文 専用線は送信が多く受信はほとんどない。 私は東京市内にある新聞通信社の専用電信 初日は休む暇もない忙しさだった。

> もあったが、放送電力が弱いため海外での聴 他社に先がけて報道するば、折返し所属の通 れる風習があった、と後で教えられて得心した。 信社から賞賛の電報と同時にボーナスが贈ら 0 当時NHKのラジオ放送(前年三月開始) 頃日本駐在の外国特派員が重大ニュ ースを

取は無理らしく、従って速い通信はどうして

も電報に頼るほかはなかったのである。

臨時

時頃、轜車(お柩をのせた車)が静々と進まあった。御苑近くなので待機時間が長く、八 発し、新宿御苑のご葬場に向かわれるが、当非常に近い場所。ご葬列は午後六時に皇居を れ、 る。 日は残雪が所々にあって冷え冷えとする夜で 濃町辺りに整列した。新宿御苑の正門までは 下の大学、専門学校の学生は沿道に堵列して 応援は三日間で終了した。 ご奉送するので、我々も当日、確か四谷の信 昭和二年二月七日、ご大喪が行われた。 自ずから頭の下がる思いがしたものであ

#### 日本縦断 〃汽車の $(\Xi)$

きた。展望台からの帰路、中腹にあるガラス 地が一望でき、遙か彼方に増毛山脈が遠望で という名の坂もある。旭展望台からは、市街 ある。又小樽は、坂の多い町で、〝地獄坂〟 観光することとした。定期観光バスは出発し 工房を見学した。二階から工房内の作業を見 つて鰊が豊漁だった頃の繁栄が偲ばれる街で 機関をはじめ歴史的な建物が数多くあり、か た後だったので、タクシーで見て回った。 小樽市は、人口約十四万人であるが、金融 後は、昨年のツアーで通過した小樽市内を 十分発の特急で札幌着十二時五分。 磯岡 芳明 (松山 友 几

> 逃げ場もない有様。あらゆる硝子製品が所狭 館内はギャルと子供達(殆どが女の子)で、 役の運転手が話してくれた。次に訪れたのは、 作業している人は、正に重労働である。 学できるが、工房内の温度はかなりの高温で、 ており、おまけに日曜日と重なったためか、 しと陳列され、天井からは色彩の鮮かなラン いが数多く吊されている。 (株) 北一硝子三号館。観光ルートにもなっ この工房は、最近TBS系列のテレビドラ "日曜劇場"のロケが行われたと、ガイド

昭和五十三年にまず屋根葺替工事を行ない、 盃が交わされたという歴史的遺構でもある。 治後期の商業建築が優れた文化遺産として甦 六月竣工した。ここに商都小樽を代表する明 五十九年十月全面修復工事に着工、六十二年 議室で開かれ、会議終了後、隣の貴賓室で祝 約に基づく日露の樺太国境画定会議が二階会 工後間もない同年十一月には、ポーツマス条 ロッパ復興様式の石造二階建建築である。竣 支店。明治三十九年十月に落成した近世ョー しかし年ごとに老朽化が目立ってきたため、 次は重要文化財の旧日本郵船株式会社小樽

ないガス燈が三十一基設置され、遊覧ボート 年三月に完成したものである。全国でも数少 港の近代化とともにその使命を終えた。その イプ役として大きな役割を果してきたが、 最後は小樽運河。この運河は海陸をつなぐ 昭和五十八年から整備を行い、六十一 市内外から訪れる人々の憩の場とするた 新たな観光名所となっている。

岡田 恂三 (松山

> 屋を私の書斎に当てたからだった。 用を思いつき、一部屋を寝室に、残りの一部 嫁いで二階が空室になっていたので、有効利 に帰ってきてからであった。それも、 生活から解放され、停年を間近かにして自宅 私が書斎らしい書斎を持ったのは長い転勤 娘達が

コントラストが如何にも清々しい』と。 木々がテラスの屋根からのぞき、緑と白との ビル、丘、連山の順に真白い。常緑樹の庭の ら見る雪景色はすばらしい。田んぼ、住宅、 の日記には次のように記している。「二階か か異っているように思えた。このことを当時 二階から眺める景色は一階のそれとは殊のほ 約三十年ぶりのことであった。したがって、 トの二階に住んだことがあるので、それ以来、 時代は別として、結婚後間もなく市営アパー 当時はまだまだ、田んぼが多く住宅も建て 二階を居室の一部として住んだのは、下宿

ネットリとした消化不良ぎみのふんが目につた。それ以降、庭石やつくばいの渕に、黒い 置いている。当初は可愛いらしい目白の番が庭には池の代りに枯山水を配し、つくばいを 紅葉の木の先にひからびた蛙が突きささって 舌やひよどりが荒々しく住みつくようになっ いたが、いつの間にかそれを追い出して、百 住みつき、よくつくばいの水で水浴びをして ちはだかり、それができなくなっている。 くようになった。また、すっかり葉の落ちた けたたましい鳴声で目を覚ますこともある。 ろの鳥達が訪れる。この頃、百舌(モズ)の が、昨今ではすぐ近くにマンションなどが立 城が見え、天主閣の夜景が美しく眺望できた こんでなかったので、住宅やビルの向うにお 寒に入って寒さが続くと、狭い庭にいろい 餅の木や万両の赤い実がいつの間に

> 眺めながらこんなことを考えている。 日もまた、二階の書斎にあって、外の景色を ことができれば、目のうろこが落ち、すばらうな一段高い位置から見たり、考えたりする り評価する習性があるが、時には、二階のよ 人は通常、自己の目の位置からものを見たるものである。人の価値観は多様である。 多様な側面を持つことになる。また、同じ側 思うことは、ものに表と裏があるように、人話しを元に戻そう。二階に住みついて日頃 しい人生が開けるのではなかろうか。私は今 面であっても、 かも、年を重ねるごとにその思いは深まり、 にもそれぞれの思いがあって生きている。 ている。今年も間もなくやってくるだろう。 かなくなっていたりするのがならわしとなっ 光りの当り具合によって異な



### 昭和は終わりぬ…

えばあの御年で長らくの癌との戦いによくぞ とうとう体力の限界に達せられたようだ。 耐え抜かれたものだ。 三分天皇陛下が崩御された。 昨日からの血圧低下で心配されていたが、 (昭和六四年一月七日) 謹んでご哀悼申し上 の午前六時 哲朗(松山

限りである。 ここに名実共に、 昭和は終わった。

在位六二年は、私の生きてきた年月の全てで

昭和のはじめに生まれた私にとって天皇の

界大戦の過酷なる激動を経て終戦、世界観の 々で育った私の思いとが重なり、 て平和な経済立国への躍進と、その歴史の節 したような悲しみでもある。 戦後の荒廃からの復旧立ち直り、そし 更には痛ましい第二次世 の中で即位され、満 肉親を無く

と「書経」からの出典で外に平和であり内に 移動通信株式会社のためにも、後輩に道を開 十月一日に会社の統合合併で発足したNTT まことに隠やかな佳き年号である。 成る、また天平・地成の意でもあるという。 和を終え、歴史の幕が降りようとは……。パ フになるよう、この元年を精進しよう。昨年 後二時のテレビで新元号が発表された。 ソコンで、このノートを書いているとき、午 への出航を決意して越えた新年で図らずも昭 昨年に還暦を迎えて零才スタートの新世代 ″平成』元年のスタートである。「史記」 今一度頑張らねばならない。

## 郷土の史跡めぐり好評

勤務を兼務して、国策による増産対策の一翼

をにない、張り切っていました。

託として、小台、

向島にある陸軍の監督工場

で決算を担当し、航空本部整備課付の陸軍嘱当時私は浅草の富士工業株式会社の経理部

(昭和六四年一月七日記)

めての電電退職者有士による屋島名勝の史跡 ぐりが行われた。 深まりゆく秋の十一月十八日、香川では初 清水 健市 (高松)

藤継信・菊王丸の墓、安徳天皇社、那須与一 催で、当日は貸切りバス一台で満席の四五名 屋島山頂から檀の浦週辺を散策した。 (男女ほぼ同数) が、午前十時高松駅を発車、 駒立岩など、 屋島寺、 テルウェル(電電共済会)香川営業所の主 獅子の霊巌、談古嶺、血の池、佐 歴史に名高い名勝史跡は香川

> 寺は、いつ?誰が建て、干手観音は何を意味に住む人は誰でも知っている。しかし、屋島 加を望んでいる。(但し、昼食代は自弁) を変えて行う予定で、退職者のみなさんの参 いて意義深い一日を過ごし、好評を博した。 化財保護協会長、教育会館長)の分かりやす んだ文化や史実になると分かる人は少ない。 戦わねばならなかったのかなど、一歩踏みこ しているのか、源平の合戦はなぜ屋島の地で い説明を聞きながらメモやテープを取る人も この催しは今後毎年共済会主催により行先 当日は、講師である上原正明先生(高松文

# シンガポールを偲んで

寒の師走、凍りついた朝だった。立川飛行場 だけが騒然と聞こえていた。 には人影も少なく、静寂を破るプロペラの音 へ空路派遣された。その日の東京の空は、厳 昭和十八年の暮、軍の命により急拠昭南島 山口 満夫 (松山)

森を経て、大阪湾から淡路島を右に見て室戸 なかった。どんより曇った東京の空を眺め、 夢にも思われず、一度故郷の老母に会いたく を踏みしめ機内に入り、 虚さを秘めながら、それでも颯爽とタラップ 再び内地の土地を踏むこともないであろう空 せめて五日間の休暇を申し入れたが許可され 外地に派遣されれば無事で帰還できるなど 高度二千米、箱根の山を越え、三重県鈴鹿 漸く緊張感も消えた。

**- 佐湾から足摺岬にさしかかったころ、** 

豊後水道を渡り宮崎県の新田原飛行場で給油 輝いていた。故郷の字和島がひょっとしたら 機長の許可を得て夏服に着替えた時はほっと さで機内は冬服ではやりきれない。ようやく 方角を見つめたが、見える道理はありません。 見えるのじゃないかと、胸をおどらせて南の のうえなく乗心地がよかった。 やっと気持も落ちつき、 路台湾の屏東に向う。 種子ケ島、奄美大島を過ぎる頃は大変な暑 大平洋の怒涛が土佐湾を洗い、白く美しく 初めての飛行機はこ

進む。八重山群島、台湾の基隆、台北を過ぎ、瑚礁が広がり、壮観絶無、機は高度を下げて 茜色に燃える屏東の空は次第に夕闇に包まれ、 きく夕闇に浮かび上っていた。 夕日が沈むころ屏東飛行場に着陸、 て生涯思い出の体験だった。 南国特有のコバルトに輝く海には美しい珊 僚機が大

した。一日にして冬と夏の季節に出会うなん

#### 投 稿 規 定

原稿締切の五月二〇日の一、随筆、随想、六〇〇字以内の一、短歌、俳句、川柳の五首又は五句以内会員消息の四〇字以内の会員消息の四〇字以内のの字以内ののでは、

・原稿の取扱いについてはお任せ願います。・字数はなるべくお守りください。

第六六号

編集発行 電友会四国平成元年四月一日発行 電友会四国連合会会報 第六六 松山市一番町四-三(**一**七九○) 刷 四国電話印刷株式会社電話(〇八九九)三六一二〇二三 連合会

### HOWDY HOME TELEPHONE

2回線、8台まで



No.